

万一の賠償事故に対する備えと、入居時の保証人に負担がかからないようにするための制度です。
安心して充実した留学生活を送るためにぜひご加入ください。

留学生住宅総合補償

(海外旅行保険+保証人補償基金)

一般に、日本で民間宿舍等を借りる場合、入居のための保証人が必要です。留学生がこの補償制度に加入することにより、保証人の精神的・経済的負担を軽減し、保証人を引き受けやすくすることができます。

(運営団体) 財団法人 日本国際教育支援協会／事業部共済課
〒153-8503 東京都目黒区駒場4-5-29 TEL: 03-5454-5275
URL: <http://www.jees.or.jp/>

詳しい内容は、動画「留学生へのご案内ムービー（多言語）」をご覧ください。

1.補償対象者

○海外旅行保険：留学生

留学生住宅総合補償協力校である日本の大学、短期大学、高等専門学校、専修学校専門課程（専門学校）及び法務大臣の告示をもって定められた日本語教育機関に入学した方及び入学確実な方で、原則として在留資格「留学」を有する方

○保証人補償基金：賃貸借契約の連帯保証人

留学生の民間宿舍等への入居に際し、賃貸借契約の連帯保証をした機関・個人

- ①大学等及びその教職員・留学生センター長・留学生課長等
- ②地域の国際交流協会・センター等

ただし、専修学校専門課程（専門学校）及び日本語教育機関在籍留学生の保証人の範囲は、学校及び校長・主任教員・事務長に限ります。

2.補償期間

① 加入手続きを行った翌日(注1)	} いずれか遅い方の日の 午前0時から	1年後の始期応当日前日の午後12時まで または 2年後の始期応当日前日の午後12時まで
② 賃貸借契約開始日		
③ 原補償期間満了日の翌日(注2)	午前0時から	

	補償期間	1年間	2年間
○補償期間の考え方	補償開始日	2011年3月1日午前0時	2011年3月1日午前0時
	補償終了日	2012年2月29日午後12時	2013年2月28日午後12時

(注1) 留学生が(財)日本国際教育支援協会に保険料等負担金を振込み、かつ、学校から加入者控の交付を受けた翌日。

(注2) すでに留学生住宅総合補償に加入している方が、補償期間満了前に継続のための加入手続きを完了させている場合に限ります。

※在留期間が1年または6ヶ月の学生は「1年間」、在留期間が2年の学生は「2年間」でご加入ください。

※留学の在留資格による在留期間が終了した場合（卒業または退学等により学校に在籍しなくなった場合）、補償は終了しますので解約手続きを行ってください。

3.留学生住宅総合補償の内容

○海外旅行保険：(財)日本国際教育支援協会が契約者となり東京海上日動火災保険(株)との間で包括契約を締結している保険です。

賠償責任

【留学生賠償責任】

留学生本人が補償期間中に、日常生活に起因する事故、または留学のための宿泊・居住施設の所有・使用または管理に起因する事故によって、他人にけがをさせたり、他人のもの*を壊したりして損害を与え、法律上の損害賠償責任を負った場合、保険金を支払限度額の範囲内でお支払いします。

*以下のものを含みます。

- ・ レンタル業者より被保険者(留学生本人)が直接借用した旅行用品または生活用品
- ・ ホテルの客室および客室内の動産(セイフティボックスのキー及びルームキーを含みます。)
- ・ 宿泊・居住施設(但し、火災、爆発、破裂および漏水等による水濡れにより与えた損害に限ります。)

*被保険者は留学生本人のみです。子供が起こした事故について監督義務者責任を負う場合や、賃借した居室の損壊について債務不履行責任が生じ、被保険者たる親権者等が法律上の損害賠償責任を負う場合は補償の対象となります。

例えば、このような事故が対象となります。

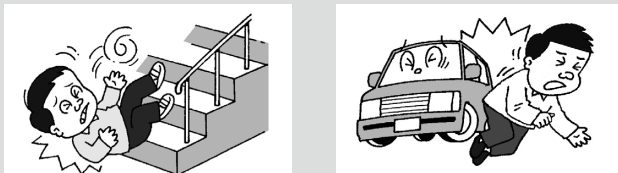
- ・ 失火により借家を焼失させてしまった。
- ・ ガス爆発事故を起こし、借家を損壊させてしまった。
- ・ アパートの部屋を水浸しにした。
- ・ お店の商品を壊した。
- ・ 自転車を運転中、歩行者と接触しけがをさせた。



(注) 部屋に与えた損害で保険金が支払われるのは、火災、爆発、破裂、および漏水等による水濡れが原因となった場合のみです。例えば、偶然物をぶつけて床を傷つけてしまった場合、窓ガラスを割ってしまった場合等が原因での事故には保険金は支払われませんので、ご注意ください。

傷害後遺障害

留学生本人が補償期間中の偶然的事故によるけがのもとで、事故の日からその日を含めて180日以内に後遺障害が生じた場合に、その程度に応じて後遺障害保険金額の3%~100%をお支払いします。



例えば、このような事故による後遺障害が対象となります。

- ・ 交通事故のけがによる後遺障害
- ・ スポーツ中のけがによる後遺障害
- ・ 旅行中のけがによる後遺障害
- ・ 家庭内でのけがによる後遺障害 など

※保険金をお支払いする場合、お支払いする保険金、保険金をお支払いしない主な場合については、後記「補償のあらまし」(5頁)をご覧ください。

○保証人補償基金：(財)日本国際教育支援協会が運営する基金です。

保証人補償

【保証人補償基金】

何らかの事由で貸主に対する家賃支払いが滞り、あるいは借用戶室の修理や原状に戻す必要が生じ、そのための費用を連帯保証人が留学生に代わって支払ったとき、連帯保証人に対し、補償金をお支払いします。

(注)「補償期間中に明け渡し」となった場合に限ります。

4.保険料等負担金と補償金額

	補償対象者	補償内容	補償期間1年間	補償期間2年間
海外旅行保険	留学生	①留学生賠償責任	5,000万円限度	5,000万円限度
		②傷害後遺障害	240万円限度	240万円限度
保証人補償基金	保証人	③保証人補償	30万円限度	30万円限度
保険料等負担金 (海外旅行保険保険料と保証人補償基金加入金の合計負担額)			4,000円 (保険料2,500円+加入金1,500円)	8,000円 (保険料5,000円+加入金3,000円)

◎留学生住宅総合補償加入者受付・管理サイト【留学生住宅システム】 運用開始に伴う手続方法の一部変更について

2011年11月28日から、手続方法が一部変更となりました。

保険料等負担金の振込みには、必ず留学生住宅システムで払込票を発行する必要があります。

2012年3月10日までは、払込取扱票を除く現行の所定様式でも各種手続きを受付けます。

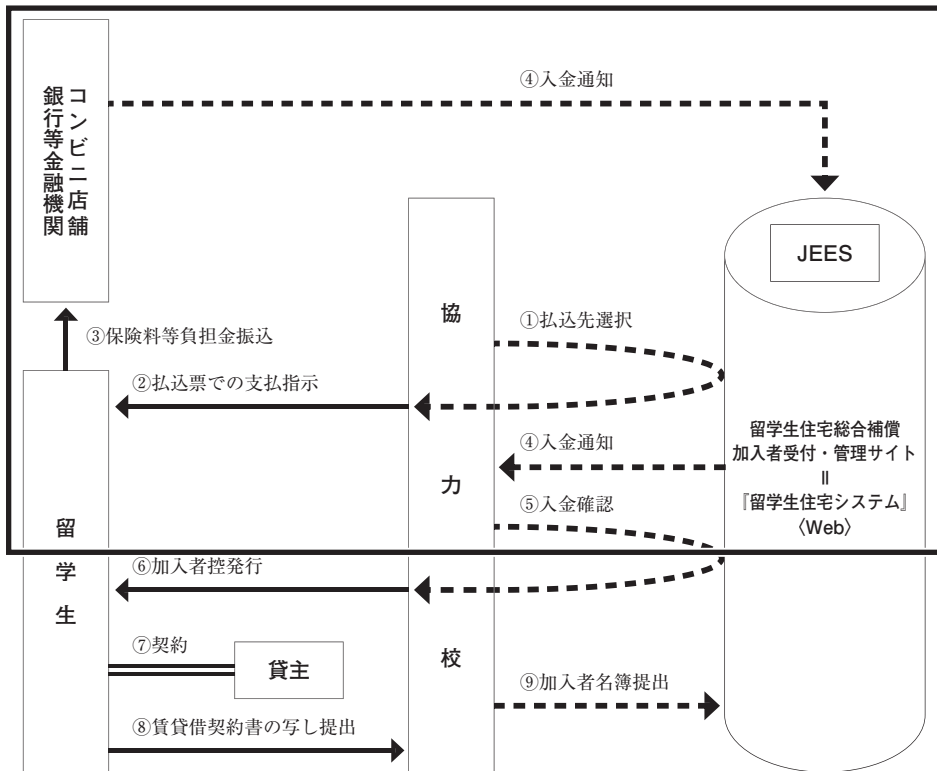
お手数ですが、2011年3月1日以降補償開始用パンフレット、3～4ページの記載は、こちらと差し替えてお読みくださるよう、お願いいたします。

5.お申込み方法

民間宿舍等へ入居するため、連帯保証人が必要となったとき、次の手続きによりお申込みください。

■例) 不動産業者等訪問から入居まで

- (1) 不動産業者等で物件内定
 (通常不動産業者等から契約時に保証人と保険加入が必要だと言われます。)
- (2) 学校の留学生担当窓口へ保証人と保険加入について相談
 (制度に加入する方法等についてお問い合わせください。)
- (3) 申込手続
 (申込手続①～⑨の順に手続きを行います。)



(注) 上図の破線矢印 ←---→ は、システム経由の手続きを表しています。

 で囲んだ手続きは、システム経由でのみ行うことができます。

- (4) 連帯保証人へ依頼
 ①保証人へ加入者控を渡し、留学生住宅総合補償に加入していることを連絡します。
 ②賃貸借契約書に署名捺印してもらいます。
- (5) 不動産業者等で契約
 (加入者控を提示し、不動産業者等へ保険には加入済みであることを知らせます。)
- (6) 学校の留学生担当窓口へ「賃貸借契約書の写し」を提出
- (7) 入居
 ※引越しをした、保証人が不要となった又は保証人が変更となった場合には、必ず留学生担当窓口までお知らせください。
- (8) 学校の留学生担当者が「留学生住宅総合補償加入者名簿」を留学生住宅システムを通じて(財)日本国際教育支援協会 (JEES) に提出します。

6.ご加入の際のご注意

①ご加入時にご確認ください。

ご加入の際には、加入依頼書兼払込取扱票の記載事項に間違いがないか十分にご確認ください。記載事項が事実と相違している場合には、保険契約を解除し保険金をお支払いできないことがあります。

また、次のような場合には、お受け取りになる保険金が削減されたり、保険金をお支払いできないことがあります。ご不明な点は、(財)日本国際教育支援協会または引受保険会社までご照会ください。

- ・補償期間中にビッケル等の登山用具を使用する山岳登山、リュージュ、ボブスレー、スケルトン、スカイダイビング、ハンググライダー搭乗、超軽量動力機(モーターハンググライダー、マイクロライト機、ウルトラライト機等をいい、パラプレーン等のパラシュート型超軽量動力機を除きます)搭乗、ジャイロプレーン搭乗、その他これらに類する危険な運動をされる場合
- ・補償期間中に航空機操縦をされる場合(ただし、お仕事での航空機操縦については除きます。)
- ・補償期間中に自動車等の乗用具による競技、試運転、競技場でのフリー走行等をされる場合
- ・補償期間中に危険なお仕事(例えば、プロボクシング、プロレスリング等)に従事される場合

②補償期間が6ヶ月を超える場合は、次の事項についてあらかじめご了承ください。

- ・ご加入の際、パスポートをご呈示いただく場合があります。
- ・帰国予定が延びたことを理由とする保険期間の延長のお申し出はお引受できないことがあります。

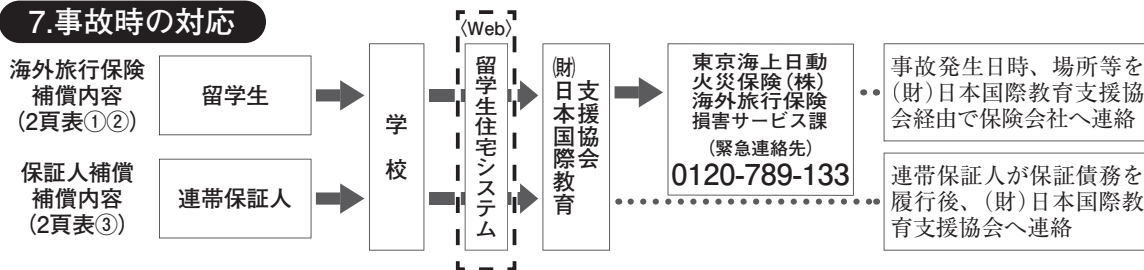
③帰国予定のない方や日本に永住される方を被保険者とすることはできません。

そのため、保険契約締結並びに保険金請求の際に、在住状況等をご申告いただく場合がありますのであらかじめご了承ください。

④保険会社が経営破綻した場合等の取扱いについて：引受保険会社の経営が破綻した場合等には、保険金、返れい金等の支払いが一定期間凍結されたり、金額が削減されることがあります。なお、経営が破綻した場合には、この保険は「損害保険契約者保護機構」の補償対象となり、保険金、返れい金等は、原則として80%(破綻保険会社の支払停止から3ヶ月間が経過するまでに発生した保険事故に係る保険金については100%)まで補償されます。

⑤ご契約内容および事故報告内容の確認について：損害保険会社等の間では、傷害保険等について不正契約における事故招致の発生を未然に防ぐとともに、保険金の適正かつ迅速・確実な支払を確保するため、契約締結及び事故発生の際、同一被保険者または同一事故に係る保険契約の状況や保険金請求の状況について(社)日本損害保険協会に登録された契約情報等により確認を行っています。確認内容は上記の目的以外には用いません。ご不明の点は、引受保険会社までご照会ください。

7.事故時の対応



※2012年3月10日まで、Webシステム経由でなくても従来どおり受け付けます。

①もし事故が起きたときは

①**事故の通知**：事故が発生した場合には、事故の日時、場所、被害者名、事故状況等を30日以内に学校経由で(財)日本国際教育支援協会にご通知ください。

②**賠償事故の場合**：保険会社が被害者の方と示談交渉を行う「示談交渉サービス」はありません。したがって、賠償責任事故が発生した場合には、保険会社の担当部署からの助言に基づき、被保険者(保険の対象となる方)ご自身が被害者の方と示談交渉を進めていただくことになりますので、あらかじめご了承ください。なお、保険会社の承認を得ないで、示談を締結された場合には、示談金額の全部または一部を保険金としてお支払いできない場合がありますので、ご注意ください。

(お願い) 学生が日本語でのやりとりにより負担を感じることをしないよう、(財)日本国際教育支援協会及び保険会社との窓口には必ず学校がなるようにしてください。

8.ご加入後のご注意

①**通知義務**(ご加入後に契約内容に変更が生じた場合に保険会社に連絡していただく義務)：ご加入後、契約内容に次のようなことが生じる場合には、必ず遅滞なく学校または(財)日本国際教育支援協会または引受保険会社にご通知ください。ご通知がないときは、保険金が削減されることがありますのでご注意ください。

- ・補償期間中に危険なお仕事(例えば、プロボクシング、プロレスリング等)に従事するようになった場合

②退学・出国により解約する場合は、学校または(財)日本国際教育支援協会にご通知ください。未経過期間の保険料を返還できる場合があります。

9.その他ご注意いただきたいこと

このパンフレットは海外旅行保険・保証人補償基金の内容についてご紹介したものです。海外旅行保険のご加入にあたっては、必ず「重要事項説明書」をよくお読みください。ご不明な点等がある場合には、下記の契約者または引受保険会社までお問い合わせください。

海外旅行保険は(財)日本国際教育支援協会を保険契約者とし(財)日本国際教育支援協会協力校に在籍する留学生で保証人補償基金に加入する留学生を被保険者とする海外旅行保険包括契約です。保険証券を請求する権利、保険契約を解約する権利等は(財)日本国際教育支援協会が有します。

＜お問い合わせ先＞

＜契約者＞

財団法人 日本国際教育支援協会
事業部 保険・補償課

〒153-8503 東京都目黒区駒場4-5-29
TEL：03-5454-5275 (直通)
FAX：03-5454-5232
http://www.jees.or.jp/

＜引受保険会社＞

東京海上日動火災保険株式会社
公務第二部 公務第一課

〒102-8014 東京都千代田区三番町6-4
TEL：03-3515-4133
FAX：03-3515-4132
http://www.tokiomarine-nichido.co.jp/

■海外旅行保険(補償のあらまし)

お支払いする保険金の種類	保険金をお支払いする場合	お支払いする保険金	保険金をお支払いしない主な場合
<p style="text-align: center;">留学生賠償責任危険</p>	<p>被保険者(保険の対象となる方=留学生本人)が補償期間中の日常生活に起因する事故、または住宅(*1)の所有、使用または管理に起因する事故で他人にけがをさせたり、他人の物(*2)に損害を与え、法律上の損害賠償責任を負った場合。</p> <p>(*1)住宅とは? 被保険者(保険の対象となる方)の留学または旅行のための宿泊施設もしくは居住施設をいいます。</p> <p>(*2)レンタル会社より保険契約者または被保険者が直接借用した旅行用品・生活用品、宿泊施設の客室、宿泊施設の客室内の動産(セイフティボックスおよび客室のキーを含みます。)、居住施設(部屋内の動産を含みます。)(*3)を含みます。</p> <p>(*3)居住施設の損害のうち、次の損害については、火災、爆発、破裂および漏水、放水またはあふれ水による水漏れにより与えた損害のみお支払いの対象となります。</p> <p>・建物またはマンションの戸室全体を賃借している場合の部屋(部屋内の動産を含みます。)の損害 ・部屋以外の損害</p>	<p>損害賠償金の額。 1回の事故について、留学生賠償責任保険金額が限度となります。</p> <p>(注1)損害賠償責任の全部または一部を承認する場合は、あらかじめ引受保険会社にご相談ください。</p> <p>(注2)損害の発生または拡大を防止するために必要・有益な費用、引受保険会社の同意を得て支出した訴訟費用・弁護士報酬等に対しても保険金をお支払いできる場合があります。</p> <p>(注3)被保険者が責任無能力者の場合で、その責任無能力者の行為により親権者等が法律上の損害賠償責任を負った場合もお支払いの対象となります。</p>	<p>たとえば、</p> <ol style="list-style-type: none"> ①戦争、その他変乱(*4) ②放射線照射、放射能汚染 ③保険契約者または被保険者(保険の対象となる方)の故意 ④職務遂行またはアルバイト業務に関する賠償責任(仕事上の賠償責任) ⑤航空機、船舶(*5)、車両(*6)、銃器の所有・使用・管理に起因する賠償責任 ⑥受託品に関する賠償責任((*)2)で含める物はお支払いの対象となります。) ⑦親族に対する賠償責任 <p>(*)4 戦争危険等免責に関する一部修正特約がセットされているため、テロ行為はお支払いの対象となります。</p> <p>(*)5 ヨット、水上オートバイは保険金お支払いの対象となります。</p> <p>(*)6 レンタカーを含みます。なお、自転車、ゴルフ場の乗用カート、レジャー目的で使用中的のスノーモービル等は保険金お支払いの対象となります。</p>
<p style="text-align: center;">傷害後遺障害保険金</p>	<p>被保険者(保険の対象となる方=留学生本人)が、補償期間中の急激かつ偶然な外来の事故によるけがにより、事故の発生の日からその日を含めて180日以内に身体に後遺障害が生じた場合。</p>	<p>(後遺障害の程度に応じて)傷害後遺障害保険金額の3%~100% お支払い額は、保険期間を通じて合計で傷害後遺障害保険金額が限度となります。</p>	<p>たとえば、</p> <ol style="list-style-type: none"> ①保険契約者、被保険者(保険の対象となる方)の故意または重大な過失 ②保険金受取人の故意または重大な過失 ③戦争、その他変乱(*7) ④放射線照射、放射能汚染 ⑤無免許・酒酔・麻薬等を使用しての運転中に生じた事故によるけが ⑥けんかや自殺、犯罪行為を行うこと ⑦脳疾患、心神喪失、妊娠、出産、早産、流産によるけが ⑧旅行開始前、終了後に発生したけが <p>(*)7 戦争危険等免責に関する一部修正特約がセットされているため、テロ行為はお支払いの対象となります。</p>

■保証人補償基金(補償のあらまし)

補償金をお支払いする場合	補償金をお支払いしない場合
<p>賃借人である留学生が賃貸人に対して負担する債務のうち、次に掲げるものが履行されないことによって保証人が損害を被った場合、補償金をお支払します。</p> <p>(1)家賃もしくは賃料及び共益費の支払い (2)借戸室等の修理又は原状回復費用の支払い</p> <p>(注)「補償期間中に明け渡し」となった場合に限りです。</p>	<p>次に掲げる損害に対しては補償金をお支払いしません。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1)賃借人である留学生が賃貸人に対して負担する債務とは認められない次に掲げる損害 ア光熱水料 イ町内会費 ウその他、賃貸人が賃借人に代わって支払う義務のない債務の履行による損害 (2)保証人、賃貸人又はこれらの者の代理人の故意又は重大な過失によって生じた損害 (3)家賃等の公正妥当でない値上げ、環境悪化、賃貸人の義務不履行等に起因して賃貸人と賃借人との間に争いがある場合に生じた不履行に基づく損害 (4)補償期間の開始時に家賃等の支払いの履行遅滞が生じていた賃借人にかかる損害(補償期間を継続した時は、この限りではありません。) (5)補償期間が開始してもなお、賃貸借契約書が作成されていない場合、又は賃貸借契約の保証人が確定していない場合 (6)賃貸借物件の引き渡し前に留学生が次の各号の一つに該当する場合 ア仮差押、差押もしくは競売の申請又は破産もしくは和議開始の申し立てがあった時 イ租税公課を滞納して督促を受けた時、又は保全差押を受けた時 ウ賃貸人に対する債務不履行が発生した時 (7)住宅総合補償の申込み時に、留学生、保証人、又はこれらの代理人に詐欺行為があった場合

契約概要・注意喚起情報のご説明

- 本説明書はご加入いただく保険に関する全ての内容を記載しているものではありません。詳細については、保険契約者である団体の代表者の方にお渡ししております保険約款によりますが、ご不明点等については本パンフレット4頁記載の「お問い合わせ先」まで問い合わせてください。
- 契約概要はご加入いただく保険の商品内容をご理解いただくために特に重要な情報を記載したものです。ご加入いただく前に必ずお読みください。
- 注意喚起情報はご加入いただく保険をお申込みいただくに際して、お客様にとって不利益となる事項など、特にご注意ください情報に記載したものです。ご加入いただく前に必ずお読みください。

※パンフレット及び加入者控等、加入内容がわかるものを保管くださるようお願いいたします。

契約概要のご説明

1. 商品の仕組み及び引受条件等

(1) 商品の仕組み

この保険は、(財)日本国際教育支援協会を契約者とし、(財)日本国際教育支援協会協力校に在籍する留学生で保証人補償基金に加入する留学生を被保険者(保険の対象となる方)とする包括契約です。保険証券を請求する権利、保険契約を解約する権利等は契約者が有します。

この保険の名称、契約者となる団体やご加入いただける被保険者の範囲等については、1頁をご参照ください。

(2) 補償内容・保険期間(保険のご契約期間)

①主な支払事由(保険金をお支払いする場合)、保険金のお支払い額、②主な免責事由(保険金をお支払いしない主な場合)、③保険期間(補償期間)などについては、1頁・2頁・5頁をご確認ください。

(3) 引受条件(保険金額等)

この保険での引受条件(保険金額等)は予め定められた補償期間の中からお選びいただけます。補償期間についての詳細は2頁をご参照ください。

2. 保険料・保険料の払込方法

保険料はご加入いただくご契約期間によって決定されます。保険料・保険料の払込方法については、2頁・3頁をご参照ください。

3. 満期返れい金・契約者配当金

この保険には満期返れい金・契約者配当金はありません。

注意喚起情報のご説明

1. 告知義務・通知義務等

(1) ご加入時における注意事項(加入依頼書の記載上の注意事項等)

- 保険制度は多数の人々が保険料を出しあって相互に補償しあう制度です。したがって、初めから保険金等のお支払いが発生するリスクが高い方などが無条件にご加入されますと保険料負担の公平性が保たれません。
- このためご加入時には、引受保険会社に重要な事項を申し出てください(告知義務)があります(引受保険会社には告知受領権があります)。告知義務の内容等についてはパンフレット等をご参照ください。
- もし、故意または重大な過失によって、事実を告知されなかったり、事実と違うことを告知された場合、申込日から5年以内であれば、引受保険会社は「告知義務違反」としてご加入を解除することがあります。
- ご契約を解除した場合には、たとえ保険金をお支払いする事由が発生していても、保険金をお支払いすることはできません。ただし、「保険金支払事由の発生」と「解除の原因となった事実」との因果関係がない場合は、保険金お支払いの対象となります。
- なお、ご契約を解除させていただく場合以外にもご契約の締結状況により保険金をお支払いできないことがあります。例えば、『現在の医療水準では治癒が困難な病気・症状について、故意に告知をされなかった場合』等、告知義務違反の内容が特に重大な場合、経過年数に関わらず、保険金をお支払いできないことがあります。

(2) ご加入後における留意事項(通知義務等)

補償期間中に危険なお仕事(例えば、プロボクシング、プロレスリング等)に従事されるようになった場合の通知義務や事故などが発生した場合の手続き等については4頁をご参照ください。ご連絡や手続き等がないと、ご加入を解除したり保険金をお支払いできないこと等があります。

(3) 次回更改契約のお引受け

保険金請求状況等によっては、次回以降のご継続のお引受けをお断りしたり、引受条件を制限させていただくことがありますので予めご了承ください。

2. 責任開始期

保険責任は、原則として、1頁記載の補償期間(保険期間)の開始時から始まります。

3. 主な免責事由(保険金をお支払いしない主な場合)等

5頁をご確認ください。

4. 保険会社破綻時の取扱い

引受保険会社の経営が破綻した場合等には、保険金、返れい金等の支払いが一定期間凍結されたり、金額が削減されることがあります。詳細は4頁をご参照ください。

5. 個人情報の取扱いについて

7頁の「個人情報の取扱いについて」をご参照ください。

(次頁に続きます。)

6. 新たな保険契約への乗換えについて

現在のご加入を解約、減額などをするを前提に、新たな保険契約へのご加入をご検討される場合は、特に次の点にご注意ください。

- ①現在のご加入を解約、減額などされる場合の不利益事項
 - 多くの場合、返れい金は払込保険料の合計額より少ない額となります。特にご加入後短期間で解約されたときの返れい金は、まったくないか、あってもごくわずかとなる場合があります。
- ②新たな保険契約にご加入される場合のご注意事項
 - 新たにご加入の保険契約について告知をいただく際、告知されなかったり、事実と異なることを告知されると告知義務違反としてご加入が解除され保険金が支払われない場合があります。
 - 新たにご加入の保険契約の責任開始期前の事故などの場合は、保険金が支払われない場合があります。

7. 被保険者からのお申し出による解約

被保険者からのお申し出によりその被保険者に係るご加入を解約できる制度があります。制度及び手続きの詳細については、パンフレット等記載の「お問い合わせ先」まで問い合わせてください。

8. 保険金のご請求・お支払いについて

(1) 事故が発生した場合の手続き等

事故が発生した場合の手続き等についてはパンフレット等をご参照ください。

(2) 保険金請求書類

保険金のご請求にあたっては、約款に定める書類のほか、以下の書類または証拠をご提出いただく場合があります。

- ・交通事故証明書、事故発生場所の管理者の事故証明等の事故が発生したことまたは事故状況等を証明する書類または証拠
- ・住民票、戸籍謄本等の被保険者または保険の対象であることを確認するための書類または証拠
- ・レントゲン・MRIなどの傷害または疾病の程度を証明する書類または証拠
- ・領収書等の被害が生じた物の価格を確認できる書類、被害が生じた物の写真および見積書等の修理等に要する費用を確認できる書類または証拠
- ・他の保険契約等の保険金支払内容を記載した支払内訳書等、当会社が支払うべき保険金の額を算出するための書類または証拠

(3) 代理人からの保険金請求

被保険者に保険金を請求できない事情があり、保険金の支払を受けるべき被保険者の代理人がない場合は、被保険者の配偶者等のご家族のうち引受保険会社所定の条件を満たす方が、被保険者の代理人として保険金を請求できる場合があります。詳細は、パンフレット等記載の「お問い合わせ先」まで問い合わせてください。

(4) 賠償責任保険金等のお支払いについて

被保険者が賠償責任保険金等をご請求できるのは、費用保険金を除き、次の①から③までの場合に限られます。

- ①被保険者が被害者に対して既に損害賠償としての弁済を行っている場合
- ②被害者が被保険者への保険金支払を承諾していることを確認できる場合
- ③被保険者の指図に基づき、引受保険会社から被害者に対して直接、保険金を支払う場合

【個人情報取扱いについて】

保険契約者である財団法人日本国際教育支援協会は東京海上日動火災保険株式会社に本加入依頼書に関する個人情報を提供いたします。東京海上日動火災保険株式会社および東京海上グループ(※)各社は、本契約に関する個人情報(過去に取得したものを含みます。)を、保険引受の判断、本契約の管理・履行、付帯サービスの提供、他の保険・金融商品等の各種商品・サービスの案内・提供、アンケート等を行うために利用する他、下記①から⑤の利用・提供を行うことがあります。なお、保健医療等の特別な非公開情報(センシティブ情報)の利用目的は、保険業法施行規則により、業務の適切な運営の確保その他必要と認められる範囲に限定されています。

- ①本契約に関する個人情報の利用目的の達成に必要な範囲内で、業務委託先(保険代理店を含みます。)、保険仲立人、医療機関、保険金の請求・支払いに関する関係先、金融機関等に対して個人情報を提供すること
- ②契約締結、契約内容変更、保険金支払い等の判断をするうえでの参考とするために、個人情報を他の損害保険会社、東京海上グループ内の他の保険会社、社団法人日本損害保険協会等と共同して利用すること
- ③東京海上日動火災保険株式会社と東京海上グループ各社との間または東京海上日動火災保険株式会社と同社の提携先企業等との間で商品・サービス等の提供・案内のために、個人情報を共同して利用すること
- ④再保険引受会社等における再保険契約の締結、更新・維持・管理、再保険金支払等に利用するために、個人情報を再保険引受会社等に提供すること
- ⑤質権、抵当権、譲渡担保権、所有権留保等の担保権者における担保権の設定・変更・移転等に係る事務手続き、担保権の維持・管理・行使のために、個人情報をその担保権者に提供すること

※「東京海上グループ」とは、「東京海上ホールディングス株式会社」傘下の東京海上日動火災保険株式会社、日新火災海上保険株式会社、東京海上日動あんしん生命保険株式会社、東京海上日動フィナンシャル生命保険株式会社などや、前記各社の子会社等を含みます。

東京海上グループ各社の範囲および提携先企業等の一覧、東京海上グループ内における個人情報利用の管理責任者、各種商品やサービスの一覧、東京海上日動火災保険株式会社(および東京海上グループ各社)における個人情報の取扱いについては、東京海上日動火災保険株式会社のホームページ(<http://www.tokiomarine-nichido.co.jp/>)をご覧ください。

東京海上日動火災保険株式会社

保険に関するご意見・ご相談は：4頁記載の「お問い合わせ先」にて承ります。

事故のご連絡・ご相談は：東京海上日動安心110番（受付事故センター） **0120-119-110**（事故は119番-110番）
（受付時間：365日24時間） 携帯・自動車電話・PHS・衛星電話からのご利用になれます。

東京海上日動火災保険株式会社 海外旅行保険損害サービス課

緊急の場合には：4頁記載の「緊急連絡先」にて承ります。

0120-789-133

社団法人日本損害保険協会

保険会社との間で問題を解決できない場合は、「そんがいほけん相談室」にご相談いただくこともできます。また、斡旋・調停を行う機関をご紹介します。

0120-107-808

携帯電話・自動車電話・PHS・衛星電話からは03-3255-1306をご利用ください。

受付時間：平日午前9時～午後6時

（土・日・祝日はお休みとさせていただきます。）

ご加入内容確認事項(意向確認事項)

本確認事項は、万一の事故の際に安心して保険をご利用いただけるよう、ご加入いただく保険商品がお客様のご希望に合致した内容であること、お申込みをいただく上で特に重要な事項を正しくご記入をいただいていること等を確認させていただくためのものです。

お手数ですが以下の各質問事項について再度ご確認くださいようお願いします。

なお、ご確認にあたりご不明な点等がございましたら、4頁記載の「お問い合わせ先」まで問い合わせてください。

1. 保険商品が以下の点でお客様のご希望に合致した内容となっていることをこのパンフレット（重要事項説明書を含む）でご確認ください。万一、ご希望に合致しない場合はご加入内容を再度ご検討ください。
 - 保険金のお支払事由（主契約、つけている特約を含みます）、お支払いする保険金
 - 保険金額（ご契約金額）
 - 保険期間（保険のご契約期間）
 - 保険料
2. 加入依頼書の記入事項等につき、以下の点をご確認ください。万一、記入漏れ、記入誤りがあった場合は加入依頼書の訂正が必要となりますので、引受保険会社までお申し出ください。
 - 加入依頼書の「他の保険契約等」欄は正しく告知いただいていますか？
『補償期間中に下記の運動等を行う場合のみ』ご確認ください。
 - 下記の運動等を行っている間の事故は保険金が削減されたり、保険金がお支払いできないことがあります。ご不明な点は、(財)日本国際教育支援協会または引受保険会社までご照会ください。
 - ・山岳登山（ピッケル、アイゼン、ザイル、ハンマー等の登山用具を使用するもの）
 - ・リュージュ、ボブスレー、スケルトン
 - ・スカイダイビング、ハンググライダー搭乗、超軽量動力機（モーターハンググライダー、マイクロライト機、ウルトラライト機等）搭乗、ジャイロプレーン搭乗
 - ・その他これらに類する危険な運動
 - ・以下の乗用具による競技・競争・興行（いずれも練習を含む）または試運転
自動車、原動機付自転車、ゴーカート、モーターボート、水上オートバイ、スノーモービルその他これらに類する乗用具
 - ・航空運送事業者が路線を定めて運行する航空機以外の航空機操縦（ただし、お仕事での航空機操縦を除きます。）
3. 重要事項説明書（契約概要・注意喚起情報）の内容についてご確認くださいましたか？
特に「注意喚起情報のご説明」には、「主な免責事由（保険金をお支払いしない主な場合）等」などお客様にとって不利益となる情報や、「告知義務・通知義務等」が記載されていますので必ずご確認ください。

<保険金支払い対象となった事故例>

- ・洗濯機の給水ホースが外れ漏水し、隣室等へ水損（677万円）（ ）内は支払金額
- ・台所で調理中、鍋の油に引火し、天井等を焼損（105万円）
- ・自転車で走行中、人と接触し、けがを負わせる（22万円）
- ・バイクで走行中、交通事故に遭い、足の負傷によるしびれなどの後遺症が生じる（10万円）